授業科目（単位―時間） 基礎看護学　概論（1 単位―30 時間）	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 戸田　悦子

〈　授業科目の目標　〉

1. 看護の考え方や看護理論、看護の役割について理解する。
2. 保健医療福祉における看護の役割を理解し、看護活動の概要を学ぶ。
3. 看護倫理の基礎知識を学び、看護活動における倫理について理解する。
4. 国際看護と災害看護の概略が理解できる。

単元	単元目標	内容	方法
1. 看護とは	1. 看護師の本来的役割と看護独自の機能がわかる。 2. 看護の歴史から看護の変遷がわかる。	1. 看護の本質 1)看護の定義と原点 2)看護師の知識と判断 2. 看護の変遷	講義(2 時間)
2. 看護の定義	1.「多面的な看護」の定義がわかる。 2. 看護実践と質の保障に必要な要件がわかる。	1. 看護の定義 2. 看護の役割と機能 1)看護ケア 2)ケアとケアリング 3. 看護実践の質の保証 1)看護実践の要素 2)質保証の要件	講義(4 時間)
3. 看護の概念	1. ナイチンゲール看護論の基本が理解できる。	1. ナイチンゲールと「看護覚え書」	講義・演習 DVD 視聴 (4 時間)
4. 看護の対象の理解	1. 看護の継続性がわかる。 2. 人間の「こころ」と「からだ」を知ることの意味がわかる。 3. 生涯発達し続ける存在としての人間を理解できる。	1. 看護の継続性と連携 2. 人間の「こころ」と「からだ」 1)対象理解の基盤となる知識 3. 生涯発達し続ける人間 1)身体的・心理的・社会的側面	講義(3 時間) 演習(1 時間)
5. 健康のとらえ方と国民の健康状態	1. 人間の「暮らし」の理解ができる。 2. 健康状態は多様で連続していることが理解できる。 3. 医療安全と質保証がわかる。	1. 生活者としての人間 2. 健康の捉え方 3. 国民の健康状態 1)健康の全体像　2)ライフサイクル 4. 医療安全における看護の役割	講義(4 時間)
6. 看護の提供者	1. 職業としての看護が理解できる。 2. 看護提供の仕組みを理解できる。 3. 国際看護と災害看護の概略がわかる	1. 職業としての看護 1)看護職の養成制度と就業状況 2)看護職者の教育とキャリア開発 2. サービスとしての看護 3. 広がる看護の活動領域 1)国際看護 2)災害看護	講義・ DVD 視聴 (4 時間)
7. 看護における倫理	1. 看護における倫理の重要性が理解できる。 2. 看護実践における倫理問題への取り組みがわかる。	1. 現代社会と倫理 2. 医療をめぐる歴史的経緯と倫理 3. 看護実践における倫理問題への取り組み	講義(3 時間) 演習(3 時間)
8. 看護の概念	1. 看護の概念を表現できる。	1.「人間」「環境」「健康」「看護」の概念	演習 (2 時間)

〈　評　　価　〉

筆記試験(7 割)、提出物(2 割)、授業態度・出席状況(1 割)を総合して評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

茂野香おる編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[1]看護学概論，第 17 版，東京，医学書院，384p，2020.
F.ナイチンゲール：看護覚え書ー看護であること・看護でないことー，第 7 版，東京，現代社，308p，2011.
ヴァージニア・ヘンダーソン：看護の基本となるもの，再新装版，東京，日本看護協会出版会，96p，2016.
香春知永：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[4]臨床看護総論．第 6 版，東京，医学書院，404P，2016.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅰ(1 単位―30 時間)	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 柳町　良子

〈　授業科目の目標　〉　人間関係を成立させるコミュニケーション技法

1. コミュニケーションの基本概念、基本構造を学び、コミュニケーション技術の重要性を理解する。
2. コミュニケーション技術を実際の人との関わり場面で活用する方法について理解する。
3. 臨床現場における協力･連携の方法を学ぶ。
4. 人間関係を成立させるための基礎的態度を学ぶ。

単元	単元目標	内容	方法
1. 看護技術の概念	1. 看護技術の特徴について理解できる。	1. 看護技術の定義 2. 看護技術の特徴 3. 看護技術の範囲と質	講義 (2 時間)
2. 人間関係の基本	1. コミュニケーションの意義と目的を理解できる。	1. コミュニケーションの意義と目的 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程 3. 対人関係の成立に不可欠な要件	講義 (2 時間)
3. コミュニケーション技術	1. 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴について理解し、意識的にコミュニケーションがとれる。 2. 人間のコミュニケーションは相互作用であることを理解できる。 3. 対人関係における効果的コミュニケーションについて理解できる。	1. 関係構築のためのコミュニケーションの基本 1)言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 2)コミュニケーションを支える環境 3)相手との距離・テリトリー 4)挨拶・笑顔・身だしなみ・態度 2. 効果的なコミュニケーションの実際 1)傾聴と共感 2)情報収集の技術 3)アサーティブネス 4)説明の技術	講義・視聴覚教材（8 時間） グループワーク　(2 時間) 演習 (4 時間)
4. 臨床現場にいかすコミュニケーション	1. コミュニケーション障害のある人への対応を学ぶ。 2. チーム医療におけるコミュニケーションを学ぶ。 3. コミュニケーション技術を人との関わり場面で活用する方法について理解できる。 4. 人間関係を成立させるための基礎的態度がとれる。	1. コミュニケーション障害がある人の特徴と対応 2. 連絡・報告・相談 3. カンファレンス 4. 看護場面でのコミュニケーションにおける倫理 5. コミュニケーション演習(面接)	講義(4 時間) グループワーク　(4 時間) 演習（4 時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験(7 割)、記録物(2 割)、授業態度･出席状況(1 割)を総合して評価する。
ただし、筆記試験においてはそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

茂野香おる著：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ，第 18 版，東京，医学書院，432p，2021.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅱ（1単位―30時間）	時　　期 1年　前期	担　当　講　師 山口　理恵　・　新村　智宏 能見　真紀子

〈　授業科目の目標・概要等　〉　ヘルスアセスメント

1. 対象の身体的・精神的・社会的側面を総合して健康状態をアセスメントするために必要な基礎的知識、技術を学ぶ。
2. 情報収集と観察の意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。
3. バイタルサインの意義を理解し、観察に必要な基礎知識・技術を習得する。
4. フィジカルアセスメントから、看護の必要性を判断できる。

単元	単元目標	内容	方法
1. ヘルスアセスメント	1. ヘルスアセスメントの意義と目的を理解できる。 2. フィジカルアセスメントの共通技術を理解できる。	1. ヘルスアセスメント 1)ヘルスアセスメントの意義と目的 2)ヘルスアセスメントに必要な技術 (1)問診･視診･触診･聴診･打診 3)ヘルスアセスメントの実際 (1)一般状態のアセスメント (2)健康歴聴取	講義 (2時間)新村 講義・視聴覚教材(4時間) 山口
2. バイタルサインの観察とアセスメント	1. バイタルサインのメカニズムとアセスメントを理解できる。 2. バイタルサインの測定方法を習得できる。	1. バイタルサインの観察とアセスメント 1)体温･脈拍･呼吸･血圧･意識 (1)アセスメント (2)測定準備・方法	講義・演習 (8時間)山口
3. 身体計測	1. 身体計測の目的を理解し、測定方法を習得できる。	1. 身体計測 1)身長・体重・腹囲	講義・演習 (2時間)山口
4. フィジカルアセスメント	1. 呼吸器系のフィジカルアセスメントの目的と方法が理解できる。 2. 呼吸音の聴取ができる。 3. 循環器系のフィジカルアセスメントの目的と方法が理解できる。 4. 腹部･消化器系のフィジカルアセスメントの目的と方法が理解できる。 5. 筋･骨格器系のフィジカルアセスメントの目的と方法が理解できる。	1. フィジカルアセスメント 1)呼吸器系 2)循環器系 3)腹部･消化器系 4)筋・骨格器系 2. フィジカルアセスメント演習 1)呼吸音の聴診 2)胸部･腹部の打診 3)身体計測 4)徒手筋力テスト	講義 (8時間)山口 フィジカルアセスメント人形を用いた演習 (4時間)山口 (2時間)能見

〈　評　　価　〉

筆記試験(6割)、技術試験(2割)、小テスト(1割)、授業の参加態度・出席状況(1割)を総合して評価する。
ただし、筆記試験、技術試験においてはそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

茂野香おる著：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ，第18版，東京，医学書院，432p，2021.
守田美奈子監修：新訂版写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス[Web動画付]，初版，東京，246p，2020

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅲ（1 単位―30 時間）	時　　期 1 年　後期	担　当　講　師 戸田　悦子

〈　授業科目の目標　〉　ヘンダーソン看護論を用いた看護過程

1. 看護過程を構成する要素とそのプロセスを学び、その基本的な考えと実際を理解する。
2. ヘンダーソンの看護に対する考え方を学び、看護過程を展開するための基礎的能力を習得する。
3. 主体的に学習をすすめていく態度を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. 看護過程の概要	1. 看護過程を構成する要素とその関係性が理解できる。 2. 看護実践に看護過程を用いる意義を考えることができる。	1. 看護過程とは 1) 看護過程の構成要素 アセスメント・看護診断・計画立案・実施・評価 2) 構成要素間の関係性 3) 看護過程を用いることの利点	講義（2 時間）
2. 看護過程と看護理論	1. 看護過程の基盤となる考え方が理解できる。 2. ヘンダーソン看護論の基本が理解できる。	1. 問題解決過程 1) 問題解決とは 2) 問題解決に必要な力 3) 問題解決過程と看護過程の関連 2. クリティカルシンキング 1) クリティカルな思考 2) 情報分析の方法 3. 倫理的配慮と価値判断 4. ヘンダーソンが考える看護 1) 人間・環境・健康・看護の概念 2) 概念枠組	講義（4 時間）
3. 看護過程の展開	1. 看護過程の各段階について、基本的な考え方が理解できる。 2. 看護記録の目的と留意点、その構成が理解できる。	1. 看護過程の各段階 1) アセスメント 2) 看護問題の明確化（看護診断） 3) 看護計画 4) 実施 5) 評価（評価の方法） 2. 看護記録 1) 看護記録の規程と目的 2) 看護記録の構成	講義(4 時間)
4. 模擬事例を用いた看護過程の展開	1. 模擬事例での看護過程の展開が理解できる。	1. 模擬事例での看護過程の展開 1) 看護過程用紙を用いた展開	グループワーク（4 時間）
5. 紙上患者事例を用いた看護過程の展開	1.　紙上患者事例での看護過程の展開ができる。	1.　紙上患者事例での看護過程の展開 1) 看護過程用紙を用いた展開	演習(16 時間)

〈　評　　価　〉

看護過程評価表(9 割)、レポート（1 割）を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

茂野香おる著：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ，第 18 版，東京，医学書院，432p，2021.

ヴァージニア・ヘンダーソン：看護の基本となるもの，再新装版，東京，日本看護協会出版会，96p，2016.

秋葉公子他共著：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践，第 4 版，東京，ヌーヴェルヒロカワ，180p，2013.

江崎フサ子共著：ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト，第 4 版，東京，ヌーヴェルヒロカワ，130p，2013.

香春知永：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[4]臨床看護総論．第 6 版，東京，医学書院，404P，2016.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅳ（1 単位―30 時間）	時　　期 2 年　後期	担　当　講　師 槙　麻夕子

〈　授業科目の目標　〉

1. ナイチンゲール思想を基盤とする KOMI ケア理論を理解し、看護を実践する基礎的能力を養う。
2. KOMI ケア理論を活用して、もてる力に注目し回復過程を促進する看護過程展開の基礎的能力を習得する。
3. 主体的・計画的に学習を進める態度を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. ナイチンゲール思想を基にした看護理論（ナイチンゲール KOMI ケア理論）	1. この科目の進め方と学ぶ意義を理解する。 2. 看護の原理の発見者としてのナイチンゲールと「看護覚え書」の価値を理解する。 3. 生活の処方箋を描き生活過程を整えるための、病気を見つめる看護の視点を理解する。 4. KOMI ケア理論に沿った看護の目的論・対象論・方法論を理解する。 5. 新・KOMI チャートシステムの活用方法を理解する。	1. 看護の原理とナイチンゲール 2. 看護の視点で病気を視る 1) 病気を見つめる看護の視点 (1) 4 つのポイントからとらえる (2) 人体が備えている回復システム 3. 看護の目的論 1) 看護の原理 2) ケアの 5 つのものさし 4. 看護の対象論 1) ナイチンゲールの「対象の捉え方」の特徴 2) 対象の見つめ方（生命過程、認識過程、生活過程、社会過程、自然過程） 3) 対象論の構造と全体像 5. 看護の方法論 1) 看護過程展開の具体的道筋を示す「新・KOMI チャートシステム」 6. 事例展開しながら共に学ぶ思考過程（生活の処方箋の描き方）	講義 （8 時間） 講義・個人ワーク（6 時間）
2. 事例を用いた看護過程の展開	1. 事例をもとに対象理解のための情報整理ができる。 2. 事例対象の生命過程・認識過程・生活過程のアセスメントができる。 3. 看護の視点で事例対象の病気を見つめ、回復過程を促進させるケア方針を考察できる。 4. 事例対象への具体的ケアが立案できる。 5. 主体的・計画的に学習に取り組みより良い看護の追求ができる。 6. 目標共有のためのケアプランシートの活用方法を理解する。	1. 生命過程・認識過程・生活過程の情報収集と対象理解 1) 基本情報シートと読み取り 2. アセスメント 1) KOMI レーダーチャート 2) KOMI チャート 3) 生命過程・認識過程・生活過程からの読み取り 3. 課題の整理と到達目標 1) グランドアセスメント 4. 援助計画の作成 5. グループ討議による、よりよい看護の追求 6. ケアの目標共有に向けたケアプランシート作成	事例提示による看護過程演習［個人ワーク・グループ演習］（16 時間）

〈　評　　価　〉評価表（看護過程演習 9 割、小テスト 1 割）に基づき評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

F. ナイチンゲール：看護覚え書―看護であること・看護でないこと―，第 7 版，東京，現代社，308p，2011.
金井一薫：実践を創る新看護学原論，第 1 版，東京，現代社，280P，2012.
金井一薫：実践を創る KOMI チャートシステム，第 1 版，東京，現代社，104P，2013.
金井一薫：新版ナイチンゲール看護論・入門，第 1 版，東京，現代社，277P，2019.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学方法論Ⅴ(1 単位―30 時間)	時　　期 1 年前期･後期	担　当　講　師 和田　裕子

〈　授業科目の目標　〉　環境調整・感染予防

1. 健康維持や回復のために生活環境のはたす意義を理解し、生活環境を整えるための援助技術を習得する。
2. 対象や自己の安全を守る知識や技術を学ぶ。
3. 感染予防の意義を理解し、感染予防の基礎的知識、技術を習得する。
4. 創傷を管理する知識と技術を習得する。

単元	単元目標	内容	方法
1. 生活環境	1. 生活環境の調整する意義を理解できる。 2. 生活環境を構成する要素を理解し、生活環境を整えるための援助を習得する。	1. 療養生活の環境 2. 病室環境と調整 1)温度･湿度、光と音、色彩、空気の清浄性と臭気、人的環境 2)病床環境の整備 (1)ベッドメーキング (2)リネン交換 (3)ベッド周囲の環境整備	講義(8 時間) 演習(6 時間) 和田
2. 感染防止の技術	1. 感染予防の意義を学び、看護師が感染防止の実践を行う重要性を理解できる。 2. 感染予防対策の基礎知識に基づき、必要な行動をとることができる。	1. 感染防止の基礎知識 2. 標準予防策(スタンダードプリコーション) 1)手洗い･手指消毒 3. 感染経路別予防策 4. 洗浄･消毒･滅菌 5. 滅菌物の取り扱い(無菌操作) 1)無菌操作に基礎知識 2)滅菌包装の開き方･滅菌物受け渡し 3)滅菌手袋の着用 4)ガウンテクニック 6. 感染性廃棄物の取り扱い	講義(4 時間) 演習(4 時間) 和田
3. 創傷の管理と包帯法	1. 創傷管理の知識・技術を理解し、指導のもとで実施できる。 2. 包帯法の基礎を理解し、基本的方法を学ぶ。	1. 創傷処置 1)創傷の分類と創傷治癒 2)創傷保護の方法 3)ドレーン管理 2. 包帯法 1)巻軸帯･三角巾	講義(6 時間) 演習(2 時間) 和田

〈　評　　価　〉

技術試験(5 割)、筆記試験(4 割) 授業の参加態度・出席状況(1 割)を総合して評価する。
ただし、筆記試験、技術試験においてはそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

任和子編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ，第 18 版，東京，医学書院，512p，2021.
吉田みつ子，本庄恵子監修：新訂版写真でわかる基礎看護技術アドバンス[Web 動画付]，初版，東京，インターメディカ，248p，2020.
本庄恵子，吉田みつ子監修：新訂版写真でわかる臨床看護技術[Web 動画付]2 アドバンス，初版，東京，インターメディカ，232p，2020.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅵ(1 単位―30 時間)	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 細海　克守・山口　理恵

〈　授業科目の目標　〉　活動･休息援助　清潔･衣生活援助

1. 人間にとっての活動と休息の意義とそのメカニズムを理解する。
2. ボディメカニクスを活用して、移動・移送・体位変換などの基礎的援助技術を習得する。
3. 身体の清潔と衣生活の意義を理解し、対象に応じた清潔のケアと寝衣交換の基礎的援助技術を習得する。
4. 清潔･衣生活の援助の学習を通して対象を尊重する態度を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. 姿勢と活動及び休息	1. 活動の意義と廃用症候群が及ぼす影響について理解する。 2. ボディメカニクス技術に関する基礎的知識を学ぶ。 3. 休息に関する基礎知識を理解し、身体的・精神的な意義を考える。 4. 睡眠障害の症状・要因に対する援助方法を理解する。	1. 活動の生理的・精神的・社会的意義 2. 姿勢とよい姿勢の条件 1) 良肢位と廃用症候群 3. 日常生活動作 4. ボディメカニクスの原則 5. 睡眠の種類とメカニズム 6. 睡眠障害の分析とその要因 7. 援助の実際 1) 生活リズム・環境の整備 2) 安楽促進・苦痛の緩和（温罨法、冷罨法、リラクセーション法）	講義・演習 (2 時間) 細海
2. 体位と体位変換	1. 体位の種類および安楽な体位保持の必要性を、人体の構造と機能との関連から理解する。 2. 体位変換の目的と効果を理解できる。	1. 体位の種類と安楽な体位 1) 基本的体位と特殊体位 2. 体位変換の目的と効果 1) 体位と体圧の関係 3. ポジショニングの基礎知識 4. ベッド上の患者移動	講義・演習 (2 時間) 細海 演習(2 時間) 細海
3. 移動と移乗	1. 移動や移乗･移送の援助目的を理解し、安全に介助するための基礎知識を学ぶ。	1. 移動の援助目的 2. 車椅子への移乗と移送 3. ストレッチャーへの移乗と移送	講義(2 時間) 細海 演習(2 時間) 細海
5. 身体の清潔	1. 身体の清潔の意義を理解し、対象に応じた清潔のケアが習得できる。	1. 清潔援助の基礎知識 2. 清潔援助の実際 1) 入浴･シャワー浴の介助 2) 部分浴(足浴･手浴) 3) 洗髪 4) 全身清拭 5) 身だしなみ（整容）	講義・演習 (18 時間) 山口
6. 衣生活の援助	1. 衣生活の意義を理解し、寝衣交換の基礎的な援助ができる。	1. 衣生活援助の基礎知識 1) 病衣の選び方 2) 寝衣交換 3) 輸液ラインが入っている場合の留意点	講義・演習 (2 時間) 山口

〈　評　　価　〉

筆記試験(4 割)、技術試験(4 割)、提出物(2 割) を総合して評価する。
ただし、筆記試験、技術試験においてはそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

任和子編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ，第 18 版，東京，医学書院，512p，2021.
吉田みつ子，本庄恵子監修：新訂版写真でわかる基礎看護技術アドバンス[Web 動画付]，初版，東京，インターメディカ，248p，2020.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅶ(1 単位―30 時間)	時　　期 1 年前期･後期	担　当　講　師 加藤　恵・中村　那津

〈　授業科目の目標・概要等　〉栄養・食事援助　排泄援助
1. 栄養・排泄の意義を理解し、対象の生活習慣や生活背景を考慮し、ニーズに応じた関わり方を学ぶ。
2. 健康障害が日常生活に与える影響を理解し、安全･安楽な援助方法を習得する。

単元	単元目標	内容	方　　法
1. 栄養と食生活	1. 人間にとっての食事の意義を理解できる。	1.　栄養と食事に関する基礎知識 2.　栄養状態のアセスメント 1）栄養アセスメントの目的・方法 2）NST の実際	講義　(2 時間) 加藤 講義　(2 時間) 中村
2. 経口摂取が可能な人の食事援助	1. 経口摂取が可能な人への食事援助技術を習得する。	1. 食事内容・環境の調整 1)食欲への援助 2)摂食動作への援助 2.　食事介助の実際	講義　(4 時間) 演習　(2 時間) 加藤
3. 摂食・嚥下訓練	1. 摂食･嚥下障害時の看護について理解できる。	1. 嚥下障害の基礎的知識 2. 嚥下障害の診察・検査 3. 摂食・嚥下機能のアセスメント、リハビリテーション	講義(2 時間) 加藤
4. 経口的経管栄養法	1. 非経口的栄養療法を受ける人への看護技術を習得する。	1. 経管栄養法 1)栄養物の種類と特徴 2)経鼻経管栄養法 3)胃瘻カテーテルの種類と管理 2. 中心静脈栄養法 3. 経鼻経管栄養法の援助の実際 1)胃カテーテルの挿入、位置確認 2)栄養物の注入、観察、留意点	講義(2 時間) 加藤 演習(2 時間) 加藤
5. 排泄の基礎知識	1. 人間にとっての排泄の意義とメカニズムを理解できる。	1. 排泄の意義 2. 排泄機能とメカニズム 3. 観察とアセスメント 1)排尿のアセスメント 2)排便のアセスメント	講義(4 時間) 加藤
6. 自然排泄の援助と排泄方法の選択	1. 自立と個別性を重視する排泄援助技術を習得する。	1. トイレにおける排泄 2. ポータブルトイレ使用による排泄 3. 尿器･便器を使用した床上排泄 4. おむつ交換	グループワーク　(2 時間) 演習(2 時間) 加藤
7. 排泄障害と看護	1. 対象に合わせ排泄援助方法を選択・実施できる。 2. 主な排泄障害と看護について理解できる。	1. 排尿障害時の援助 1)導尿 2)膀胱留置カテーテル 2. 排便障害時の援助 1)自然排便を促す方法 2)浣腸 3)摘便の方法・留意点	講義(2 時間) 演習(4 時間) 加藤

〈　評　　価　〉
筆記試験（7 割）、演習態度及びレポート（3 割）で総合評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉
任和子編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ，第 18 版，東京，医学書院，512p，2021.
吉田みつ子，本庄恵子監修：新訂版写真でわかる基礎看護技術アドバンス[Web 動画付]，初版，東京，インターメディカ，248p，2020.
本庄恵子，吉田みつ子監修：新訂版写真でわかる臨床看護技術 1 アドバンス[Web 動画付]，初版，東京，インターメディカ，196p，2020.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学　方法論Ⅷ(1 単位―30 時間)	時　　期 2 年　後期	担　当　講　師 野田　孝子・細海　克守

〈　授業科目の目標・概要等　〉診療に伴う援助（検査・与薬）

1.　診療における看護の役割を理解し、根拠に基づいた確実な看護技術の提供を行なうための基本的技術を学ぶ。

単元	単元目標	内容	方　　法
1.診療に伴う看護	1.侵襲的処置時における看護者の役割と責務を理解する。	1.　検査･治療における看護師の役割	講義(2 時間) 野田
2.治療・処置に伴う援助技術	1.各種検査法と検査時の看護を理解する。	1.検査の意義と看護師の役割 2.検査時の種類と実施時の留意点 3.検査の方法（検査の概要と看護） 1)生体（生理学的）検査 ①X 線撮影、CT、MRI　②内視鏡検査 ③超音波検査　④12 誘導心電図 2)検体検査 ①尿　②便　③喀痰　④血液 ⑤分泌物　⑥穿刺液 3)放射線暴露防止 4.侵襲的処置の介助技術 1)各種穿刺検査　　2)生検	講義 (8 時間) 演習 (2 時間) [フィジカルアセスメント人形使用] 野田
3.与薬を安全かつ正確に行う技術	1.薬物療法の意義を理解する。 2.安全で正確な与薬を行うための基礎的知識と技術を習得する。	1.与薬に関する基礎知識 2.経口与薬 3.注射 1)注射の基礎知識 2)薬液の吸い上げ 3)皮下注射・皮内注射･筋肉内注射･静脈内注射･点滴静脈内注射 4.その他の与薬方法 1)直腸内与薬･吸入･点眼･点鼻･経皮的与薬 5.輸血管理	講義(12 時間) 演習(2 時間) 細海
4.モデル人形を使用した安全かつ正確な与薬及び採血の実施	1.患者の苦痛に配慮し、静脈血採血、注射を安全かつ正確な技術で実施できる。 2.注射部位の組織や神経、血管の走行などの解剖学的知識を習得できる。	1.薬液の取り扱い（ミキシング） 2.皮下注射及び筋肉注射 3.採血	総合演習 (4 時間) 野田 [グループでローテーションしながら実施]

〈　評　　価　〉

総合演習（7 割)、筆記試験（2 割)、授業の参加態度・出席状況(1 割)を総合して評価する。

ただし、筆記試験・総合演習はそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

任和子編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ，第 18 版，東京，医学書院，512p，2021.
奈良信雄：系統看護学講座別巻臨床検査，第 8 版，東京，医学書院，388p,2019.
吉田みつ子,本庄恵子監修：新訂版写真でわかる基礎看護技術アドバンス[Web 動画付]，初版，東京,インターメディカ,248p,2020.
本庄恵子,吉田みつ子監修：新訂版写真でわかる臨床看護技術 1 アドバンス[Web 動画付]，初版，東京,インターメディカ,196p,2020.
本庄恵子,吉田みつ子監修：新訂版写真でわかる臨床看護技術 2 アドバンス[Web 動画付]，初版，東京,インターメディカ,232p,2020.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学技術演習Ⅰ(1 単位―15 時間)	時　　期 1 年　後期	担　当　講　師 和田　裕子・藤井　恵子

〈　授業科目の目標　〉

1. 意図的に情報収集し、必要な援助を判断・報告できる。
2. 紙上患者の看護の必要性を導き、対象の特殊性や個別性にあわせた援助が考えられる。
3. 基礎的援助技術を原理・原則に基づいて、安全・安楽に実施できる。
4. 援助を受ける対象の心理を理解し、配慮した援助が実施できる。
5. 他者と協力し、主体的に自己の技術を向上させる取り組みができる。

単元	単元目標	内容	方法
1. フィジカルアセスメント	1. 意図的に情報収集し、バイタルサインのアセスメントができる。 2. バイタルサイン測定を原理・原則に基づいて、安全・安楽に実施できる。	1. バイタルサインの測定 2. 病状・症状観察 3. 観察結果の報告	演習(2 時間) 和田
2. 清潔と環境への援助	1. 紙上患者の特殊性や個別性にあわせた援助を計画できる。 2. 清潔の援助と寝衣交換が原理・原則に基づいて、安全・安楽に実施できる。 3. 患者の気持ちを考え、誠実に接することができる。 4. 自己の手技を客観的に評価できる。	1. 紙上患者の個別性にあわせた看護 1) 特殊性や個別性に合わせ援助計画の立案(マニュアル作成) (1) 臥床患者の清拭 (2) 臥床患者のリネン・寝衣交換 2) 援助計画の実施 (1) 患者への説明と同意 (2) 安全･安楽の確保 (3) プライバシーへの配慮 3) 実施した援助の評価	グループワーク　(2 時間) 演習(6 時間) 和田
3. 排泄と感染予防への援助	1. 原理原則に基づいて、安全・安楽に膀胱留置カテーテルを留置できる。	1. 膀胱留置カテーテル 1) 無菌操作での膀胱留置カテーテル留置 2) 膀胱留置カテーテルを挿入している患者の観察	演習(4 時間) 和田
4. キネステティクを活用した体位変換	1. 関節や筋肉の動きなど、身体の基本的な動きを知る。 2. 動きの感覚を体験し、その人のもてる力を活かす介助を考える。	1. キネステティクを活用した体位変換	演習(2 時間) 藤井

〈　評　　価　〉

技術試験（8 割：ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ 1 割・清潔と環境への援助 7 割)、記録物(1 割)、授業態度・出席状況(1 割)で総合評価する。

ただし、技術試験においてはそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

任和子編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ, 第 18 版, 東京, 医学書院, 512p, 2021

吉田みつ子, 本庄恵子監修：新訂版写真でわかる基礎看護技術ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ[Web 動画付], 初版, 東京, インターメディカ, 248p, 2020.

授業科目（単位―時間） 基礎看護学技術演習Ⅱ（1 単位―15 時間）	時　　期 2 年前期・後期	担　当　講　師 柳町　良子・藤井　恵子

〈　授業科目の目標　〉

1. 紙上患者の看護の必要性を導き、対象の状況を総合的に判断し、状況にあわせた援助が考えられる。
2. 基礎的援助技術を原理・原則に基づいて、安全・安楽に実践できる。
3. 援助を受ける対象の心理を理解し、対象を尊重した援助が実践できる。
4. 自己の看護を振り返り、自己の課題を明確にできる。
5. 他者と協力し、主体的に自己の技術を向上させる取り組みができる。

単元	単元目標	内容	方法
1. 周手術期患者の看護	1. 状況に合わせて周手術期患者の看護ができる。 2. 対象の価値観を認識し傾聴と共感ができる。 3. 看護の振り返りや自己洞察できる。	1. リフレクション(看護の振り返り) 2. 患者教育･指導 1) 早期離床 2) 術後合併症 3) 心理面への支援	講義(2 時間) 演習(4 時間) 柳町 演習(2 時間) 藤井
2. 日常生活援助技術	1. 紙上患者の状況にあわせた援助計画が作成できる。 2. 持続静脈内点滴注射中の患者の寝衣交換が安全・安楽にできる。 3. 膀胱留置カテーテルを挿入している患者の観察と管理ができる。 4. 対象の心理を理解し、寄り添うことができる。	1. 点滴静脈内注射、膀胱内留置カテーテル実施中のリネン交換・寝衣交換 1) 特殊性や個別性に合わせ援助計画の立案(マニュアル作成) 2) 援助計画の実施 (1) 患者に個別性にあわせた説明 (2) 安全･安楽の確保 (3) プライバシーへの配慮 3) 実施した援助の評価	演習(4 時間) グループワーク　(4 時間) 柳町

〈　評　　価　〉

技術試験(55 点)、記録物(45 点)で総合評価する。
ただし、技術試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

任和子編集：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ, 第 18 版, 東京, 医学書院, 512p, 2021.
吉田みつ子, 本庄恵子監修：新訂版写真でわかる基礎看護技術ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ[Web 動画付], 初版, 東京, インターメディカ, 248p, 2020.
本庄恵子, 吉田みつ子監修：新訂版写真でわかる臨床看護技術 1 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ[Web 動画付], 初版, 東京, インターメディカ, 196p, 2020.
本庄恵子, 吉田みつ子監修：新訂版写真でわかる臨床看護技術 2 ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ[Web 動画付], 初版, 東京, インターメディカ, 232p, 2020.
中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編：ナーシンググラフィカ 成人看護学④周手術期看護, 第 3 版, 大阪, ﾒﾃﾞｨｶ出版, 296p, 2017.